

ZENBUTSU 全仏

No.
616



仏暦2559年1月
[2016年]

CONTENTS

新年のご挨拶 第31期 全日本仏教会会長 加藤 精一	2
第31期 全日本仏教会理事長 齋藤 明聖	
第32回 仏教主義学校連盟弁論大会開催	3
結成50周年記念 第50回大阪府佛教徒大会開催	
第8回 全日本葬祭業協同組合連合会との懇談会	
全日本仏教会第32期会長・副会長ご紹介	4
「キャンパス内のカルト問題」を考える② — キャンパス内カルト勧誘 信教の自由と教育責任 — 北海道大学大学院文学研究科 教授 櫻井 義秀	6
InterFaith駅伝2016開催	18
災害救援活動に対する助成金拠出のご案内(第11次)	
賛助会員新会員ご紹介	19
花まつりポスターのご案内	20



公益財団法人

全日本仏教会

WFB (世界仏教徒連盟) 日本センター

新年のご挨拶

全日本仏教会第三十一会長

加藤 精一
(かとう せいいち)



全日本仏教会に加盟されている御寺院、各団体の皆さま、明けましておめでとございます。旧年中は全仏の健全な運営のためにお力を尽して頂き、ご協力を賜りましたこと、心から感謝申し上げます。近年は、各寺院ともに切り開いていかねばならない課題が山積しておりますが、力を合わせて誠実に対処していかねば、と考えております。本年もどうぞよろしく御教導下さいますようお願いいたします。

近代のわが国の哲学界を代表される西田幾多郎博士(文化勲章受章者)の記念切手が、以前に発行されましたが、先生の肖像の脇に御自筆のペン書きで、小さく次の和歌が書かれてありました。

「わが心深き底あり 岳も憂の波もとどかじとおもふ」
心

ちなみに寸心は先生の雅号です。喜んで悲しんだりの感情の波がとどかない、深い底の部分が、私の心の中にある、という西田先生の思いには、私も深い共感をおぼえました。私たち僧侶がかかわり、取り扱うのは、まさにその心の底の部分だとすれば、自分自身も心をよほど掘り下げて耕していかねばならない、と身がひきしまる思いになります。

人々の心の奥底に、健全な、健康な、こころ豊かな、佳いかおりに満ちた思いが存在してくるようになり、私たちも世間の人々にできるだけ寄り添えるようにつとめたいと願っております。このごろ、人の心もずいぶん変わってきましたが、その奥底には案外変わらない日本の美風が残っているように思っております。

謹んで新年のお慶びを 申し上げます

全日本仏教会第三十一期理事長

齋藤 明聖
(さいとう ありあけ)



理事長就任から一年半が経過いたしました。その間、会長様を初めとして皆さまの温かいお力添えを賜り会務を滞りなく執行させていただいておりますこと有難く厚くお礼申し上げます。本年も、わが国伝統仏教界の存在意義を社会に提示していくことを念頭に微力を尽くしてまいり所存であります。各位のご支援、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

今年、第三十一期から第三十二期へと引き継ぎの年にあたります。幸いにも、次期会長様に小峰一允真言宗智山派管長をお迎えすることが決定し、副会長ともども、四月一日からのご就任を待つばかりであります。ご活躍をご期待申し上げます。ところであります。

また、本年は、平成二十九年(二〇一七年)に執行される「財団創立六十周年記念式典」ならびに第

四十四回全日本仏教徒会議福島大会、翌、平成三十年に開催される「第二十九回WFB世界仏教徒会議日本大会」の準備年度となります。

平成二十九年は、東日本大震災で犠牲になられた方々の七回忌の年に正當することから福島県での大会開催となりました。被災地の人々の願いは「忘れないでほしい」ということでもあります。私ども伝統仏教界は、忘れていけないのかどうかを社会から問われる大会になります。皆さまの格段のお力添えを賜りたく、お願いを申し上げます。なお、すでに勧募活動も実施しております。温かいご協力のほどお願い申し上げます。

さらに、本会は公益性と共益性に鑑みて、いかに活動をしていくか。また、広報課題の克服のための広報体制・機能についても、検討を続けてまいりたいと考えます。

第三十二回 仏教主義学校連盟弁論大会開催

標記大会が十一月二十七日、立正大学学園立正中学校・高等学校の行学ホールを会場に午後一時三十分から開催された。今大会は、参加校十四校で、中学生九名、高校生十五名の二十四名の弁士が、さまざまテーマをもとに、それぞれ五分間の持ち時間で弁論を行った。大会参加各校の生徒や保護者ら四百名余りの聴衆が見つめる中、真剣かつ緊張した弁論となった。

審査の結果、淑徳巣鴨高等学校二年生上地虎太郎君が第一位となり、全日本仏教会会長賞（加藤精一会長ご染筆の色紙）を受賞した。上地君の弁論は「南太平洋の島国から日本を見る」と題し、自ら短期留学したフィジー諸島



主催者と弁士一同

での体験から感じたことを述べた。豊かな自然とあらゆるかな時間の流れの中で生活する島の人たちは、日本人の自分たちが享受している中で置

き忘れてしまったものを持っている。余分な物を持たなくとも、いきいきとした暮らしを続けているフィジー諸島の人々は、欲張らないで与えられた現実を受入れる生き方をしている。正に仏教の教えと云える弁論を展開した。

この弁論大会は、三十四年前の世界仏教徒連盟日本大会を機縁に仏教主義学校連盟中学・高校生を対象に開催され、東京都仏教連合会が後援し、本会も協賛している。

結成五十周年記念 第五十回 大阪府佛教徒大会開催

大阪府佛教会は、大阪市仏教会を中心に府下の地域仏教会に呼びかけ、宗派を越えて結成された。この度結成五十周年を記念して、昨年十一月二十五日にホテル日航大阪において標記大会が開催



挨拶をする井桁雄弘大阪府佛教会会長

会が開催され、府内各宗派僧侶をはじめ、関係者を含めて約四百七十人が参集した。最初、戦後

七十年戦没者追悼法要と全国災害物故者追悼法要並びに会員物故者追悼法要が麻生弘道高野山真言宗太融寺住職ご導師のもとに厳修された。続いて記念式典が催され、井桁雄弘会長の挨拶の後、住職在任三十年表彰、永年協賛表彰が行われた。次に齋藤明聖本会理事長の祝辞を奈良慈徹総務部長が代読。来賓として森田俊朗四天王寺管長、倍巖良舜融通念佛宗管長、荒木元悦近畿宗教連盟理事長が祝辞を述べた。

式典終了後、青山俊董曹洞宗愛知専門尼僧堂長が『今ここをどう生きるか——人生を円相で考える——』という講題で記念講演を行った。

記念講演終了後、会場を移動して記念パーティーが開催され、加藤定厚副会長の御礼挨拶の後、白井忠雄大阪市仏教会会長の乾杯発声。会場内はジャズの演奏とともに、終始和やかなお祝いの音色に包まれていた。

第八回 全日本葬祭業協同組合 連合会との懇談会 ——さらなる関係性の深化に向けて——

昨年十一月十日午後二時から東京・品川プリンスホテルにおいて、標記懇談会が開催された。この懇談会は本会と全日本葬祭業協同組合連合会（以下、全葬連）が「葬儀」という現場で起こる様々な事象を両団体で共有す

るためのもので、定期的に協議を行っている。

両団体は今までの協議の中で、葬送文化の重要性と継承の必要性を確認し、本会加盟団体と全葬連に加盟する葬祭業者に対して、お互いが共有できる情報を両団体から発信する必要性について同意している。その具体的施策として、東日本大震災合同慰霊祭、双方で主催する講演会やシンポジウムへの講師派遣、終活に向けたリーフレットの作成、葬祭業における資格認定のための審査官派遣など、様々な協働事業を展開してきた。

今後は両団体のさらなる関係性の深化に向けて、都道府県仏教会と都道府県葬祭業協同組合が、それぞれの地域における協働事業の可能性について摸索していくことが了承された。

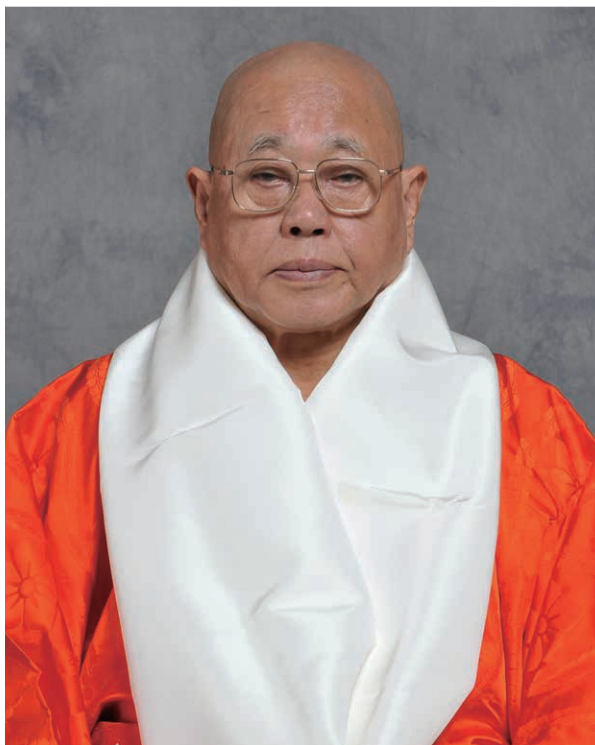
●出席者（全葬連）松井昭憲会長、北島廣・清藤哲夫・瀧名雅一・石井時明副会長、番作一之常務理事、松本勇輝専務理事、浅井あづみ事務局員。（本会）



齋藤明聖理事長、倉澤豊明事務総長、奈良慈徹総務部長、加久保範祐広報文化部長、中村甲総務部次長、新倉典生東京都仏教連合会事務局長。

第三十二期会長・副会長ご紹介

第32期 会長
小峰 一允
(こみね いちいん)



- 真言宗智山派管長
- 総本山智積院化主第七十一世
- 東京都練馬区石神井台
三寶寺住職

【最終学歴】

早稲田大学教育学部 卒業
大正大学大学院文学研究科
修士課程 修了
○昭和8年7月1日生まれ

【著書】

『三寶寺所伝 三意願方聖教集』
山喜房仏書林編集発行
『真言宗』 佐藤良盛共著
大法輪閣

第32期 副会長
田仲 日紘
(たなか にちおう)



- 法華宗真門流管長
- 法華宗真門流総本山本隆寺貫主(第百六世)
- 奈良県御所市 南都山八紘寺住職

【最終学歴】

立正大学仏教学部卒業
○昭和12年10月15日生まれ

第32期 副会長
中西 玄禮
(なかにし げんれい)



- 浄土宗西山禅林寺派管長
- 総本山永観堂禅林寺第九十世法主

【最終学歴】

龍谷大学大学院修士課程修了
○昭和16年3月21日生まれ

第32期 副会長
八木 季生
(やぎ きしょう)



- 公益社団法人日本仏教保育協会名誉会長
- 浄土宗大本山増上寺法主
- 東京都仏教連合会会長

【最終学歴】

大正大学文学部卒業
○昭和4年6月2日生まれ

第32期 副会長
多川 俊映
(たがわ しゅんえい)



- 法相宗大本山 興福寺貫首
- 法相宗前管長
- 帝塚山大学特別客員教授

【最終学歴】

立命館大学文学部卒業
○昭和22年3月6日生まれ

第32期 副会長
工藤 裕雅
(くどう ゆうが)



- 青森県仏教会会長
- 日蓮宗本迹院住職

【最終学歴】

身延山短期大学宗学科卒業
○昭和42年1月24日生まれ

第32期 副会長
篠原 法傳
(しのはら ほうでん)



- 兵庫県仏教会会長
- 総本山金剛峯寺耆宿
- 高野山真言宗別格本山圓滿寺名誉住職

【最終学歴】

龍谷大学卒業 高野山専修学院卒業
○昭和13年3月21日生まれ

「キャンパス内のカルト問題」を考える②

― キャンパス内カルト勧誘 信教の自由と教育責任 ―

北海道大学大学院文学研究科

教授 櫻井 義秀

(桜井 義秀)



一、カルト被害の特徴

カルト被害には二つの難しい問題がある。第一に、被害者は被害の実態に対して他の人から理解と共感が得にくいことである。「大変でしたね」と同情される半面、「そんなところへ入ったなんてどうかしているよね」「変わった人だ」と見られることを恐れて、脱会者は自身の経験を他人に語れない。青年期の数年間、人によっては中高年期を含む数十年の人生が語れない。脱会后、働こうにも履歴書に空白やアルバイトの期間だけが続くことになる。

第二に、カルト体験には「加害・

被害」の関係性が重なっているため、本人は十字架を背負うような人生を歩むことになる。オウム真理教事件では実行犯の青年達は加害者であると同時に、教祖松本智津夫の妄想をふきこまれた被害者でもあった。統一教会において靈感商法や正体を隠した勧誘を長年繰り返した元信者も、元来は被害者だったのである。しかし、自分の手で無辜の市民を殺めたり、老後の資金を奪ったりした記憶が鮮明なために、自身の被害者に気づくことすらできない人が極めて多い。

カルト教団からの脱会やその後のリハビリ期間を含めた支援活動をし

てきたのは、数少ない牧師や僧侶たちであり、統一教会による靈感商法被害に取り組んできた弁護士たちは、損害賠償請求訴訟を通じて一般市民の被害回復と元信者達の宗教的人格権の回復に乗り出した。統一教会による正体を隠した勧誘と対象者の不安を煽り畏怖困惑させて入信を迫る教化方法は、信じない自由も含めた内心の自由を侵した不法行為である。そのことを十数年かけた裁判によって判例として確立した。そして、オウム事件以降、心理学者・精神科医・ジャーナリストが、カルトとマインドコントロールの問題に取り組み、カルト問題への認識が進むことになった。

カルト問題の解決や元信者の回復を支援するためには、宗教・法律・福祉の三つの領域で連携し、宗教とカルトの「間」の問題を確認することが重要である。にもかかわらず、ここが最も出遅れている。すなわち、宗教者や宗教研究者はあえて火中の栗を拾おうとしなかった。カウンセリングや回復期の精神的支援には、臨床心理士に加えて、宗教そのものを知り実践している臨床家＝宗教者のアドバイスこそ必要である。

二、カルトからの回復

家族がカルトに巻き込まれて苦しんでいる方、そういう方を支援しようと考えておられる方には、日本脱カルト協会編『カルトからの脱会と回復のための手引き』（遠見書房、二〇〇九年）をお勧めしたい。参考文献や相談先の紹介を含め、必要な情報が揃った書籍である。

近年、グリーフワーク（悲嘆を表し喪に服する象徴的な行為）を伴うカウンセリングが行われるようになってきた。共に悲しんでくれる家族・友人・適当な知人を相談者として確保できない場合に、専門家が寄り添って悲嘆の表明を受け、共に悲しみを分かち合う。このようなプロセスがカルトから回復する時にも必要である。

カルトの間違いに気づき、脱会した時点で、カルトにより歪められた自己認識や世界認識をある程度修正したかもしれない。しかし、自分の喪失感に折り合いを付け、勇気をふりしぼって新たなスタートを切るまでの心理的葛藤は長い。人によってはライフワークになる。

個人差があるものの、ショック期
↓喪失期↓閉じこもり期を経る心理
的プロセスが見られる。ショック期

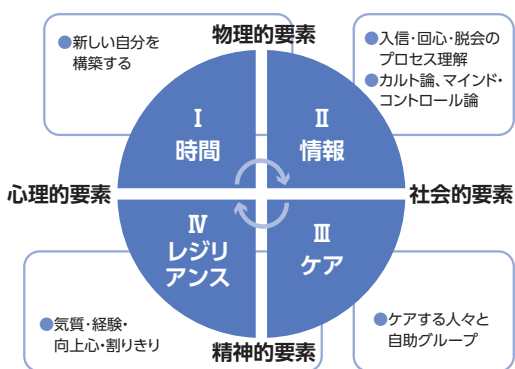
にはカルト内部の完全な人間関係が
思い出される。もちろん、カルトの
信者たちは疑念や不信があっても完
璧な信仰者としてふるまうので、外
見上はケアの行き届いた暖かい集団
に見える。しかし、カルトから一歩
外に出ると、自分から人に関わって
いかない限り、自分に関心を示す人
には出会えない。そのために、もう
一度甘えて依存できる空間が恋しく
なるのである。この喪失感を埋める
べく元に戻る人、同じようなカルト
団体をはしごする人がいる。戻らな
いまでも、自分が生きていた時間・
人間関係・充実感の喪失にどう折り
合いを付けるのか。ここをしっかりと
悲しんで喪の期間を過ごさないと中
途半端な脱会になる。身体は脱会し
ていても、精神的には引きずってい
る状態である。

カルトから救い出した家族にとっ
ては、早く忘れさせたいとんでもな
い経験ではないが、当事者にとっ
ては怒りと悲しみが交互に噴出する
思い出である。この不安定期に最後
まで寄り添えるのは家族であり、そ

の家族を支援するのがカウンセラー
と支援者の役割とも言える。

私は大学の学生相談においてカル
ト問題への対応も行っているので、
家族からの相談を受ける。卒業後も
脱会しない学生の親が一年に一度く
らいメールや手紙をくれることがあ
る。諦めないこと、戻ってくる場所
があることを示し続けてくださいと
励ますだけである。そして戻ってき
た子の親から十年以上にもわたって
挨拶状を受け取ることもある。地獄
を見たという思いは巻き込まれた人
でなくてはわからないが、共感の姿
を示すことは経験していなくとも
できるものである。

最後に、カルトからの回復に必要
な四つの要素を示したい。



【I時間】 時間とは、当事者にとって

の心理的時間であり、長さは人によって異なる。元の自分に戻るための時間ではなく、自己を喪失した喪の期間を経て自分で歩き出し、そして新しい自分を再構築するまでにかかる時間である。

【II情報】 情報とは、自分がカルトに

巻き込まれたプロセスを理解するために、カルトとは何か、マインドコントロールとはどのようなものなのか、について知るための知識である。さまざまな書籍が出ている。

【IIIケア】 ケアには、カウンセラーと

の話し合いに加えて元信者同士の集会や自助グループの活動が有効である。

【IVレジリエンス】 レジリエンスとは、

元来バネの意味であり、近年は精神的な回復力、震災復興する地域力にも使われる。逆境をはね返す内面的な力には、持って生まれた性格に加えて生育上獲得された生活態度、経験によって得られた知恵、自己を律する力などが含まれる。この部分が活性化されないと、時間・情報・ケアが提供されたとしても回復への軌道には乗

りにくい。

以上、回復期とケアの問題については、櫻井義秀編『カルトからの回復―こころのレジリエンス』（北海道大学出版会、二〇一五年）を参照していただければ幸いである。

●プロフィール

櫻井 義秀（さくらい・よしひで）

一九六二年生、山形県出身。一九八七年北海道大学大学院文学研究科博士課程中退、二〇〇四年から北海道大学大学院文学研究科教授、現在総長補佐・学生相談室長・特別修学支援室長・ハラスメント相談室長。専門は宗教社会学、タイ・東アジアの宗教文化論。カルト問題研究。著書・編著に『東北タイの開発僧』『タイ上座仏教と社会的包摂』『アジアの社会参加仏教』など多数。



新年お慶び申し上げます

法縁

總持辰三

曹洞宗宗務庁

管 長 江川辰三
 宗務総長 釜田隆文
 参 議 羽仁素道
 参 議 梅田泰隆
 人事部長 神野哲州
 教学部長 田中千春
 財政部長 橋本壽幸
 教化部長 中村見自
 伝道部長 横井真之
 総務部長 金子清学
 出版部長 塩竈博隆

東京都区港区芝二一五一一
 〒105-8544 〇三(三四五)五四二一
 ▼曹洞宗公式サイト「曹洞禅ネット」
<http://www.sotozen-net.or.jp/>

浄土真宗本願寺派

総 長 宗門伝灯奉告
 法要総本部長 法要総本部長
 総 務 宗門伝灯奉告
 法要総務本部長 法要総務本部長
 宗門伝灯奉告法要
 広報・記録本部長 宗門伝灯奉告法要
 総 務 宗門伝灯奉告法要
 布教伝道本部長 宗門伝灯奉告法要
 副 総 務 宗門伝灯奉告
 法要団参本部長 宗門伝灯奉告
 副 総 務 宗門伝灯奉告
 法要行事本部長 宗門伝灯奉告
 子ども・若者
 ご縁づくり
 推進室長 宗門伝灯奉告
 宗門伝灯奉告
 法要教化本部長 宗門伝灯奉告
 宗門伝灯奉告
 法要警備・
 誘導本部長 宗門伝灯奉告
 統合企画室長
 宗門伝灯奉告法要
 総本部署室長 宗門伝灯奉告
 浄土真宗本願
 寺派総合研究
 所 長 宗門伝灯奉告

石上智康
 本多隆朗
 藤野堯文
 山階昭雄
 武野公昭
 高橋篤法
 成川和行
 原田晃耀
 小笠原義宣
 中尾史峰
 丘山願海

京都市下京区堀川通花屋町下る
 浄土真宗本願寺派 伝道本部(宗務所)
 〒600-8501 〇七五(三七)五一八二
 F A X 〇七五(三三)一三三二
 〇七五(三三)一三三二
<http://www.hongwanji.or.jp/>

真宗大谷派

二〇一六年三月三十一日
 御本尊還座式
 四月一日

阿弥陀堂御修復完了奉告法要

宗務総長 里雄 康意

参 務 但馬 弘

参 務 解放運動
 推進本部
 青少年セ
 ンター長 木越 涉

参 務 富田 泰成

参 務 首都圏教化
 推進本部長 望月 慶子

参 務 儀式指導
 研究所長 三島 多聞

京都市下京区烏丸通七条上る
 常葉町七五四
 〒600-8505 〇七五(三七)九八一代表
<http://www.higashihongangji.or.jp/>
<http://jodo-shinshu.info/>



浄土宗

「浄土宗二十一世紀劈頭宣言」

愚者の自覚を

家庭にみ仏の光を

社会に慈しみを

世界に共生を

浄土門主 伊藤唯眞
 宗務総長 豊岡隼尔
 総務局長 中村在徹
 教学局長 山本正廣
 財務局長 川中光教
 社会国際局長 杉山俊明
 文化局長 新谷仁海
 総長公室長 浅野義光
 人権同和室長 幸島正導
 災復興事務局長
 兼社会福祉推進
 事務局 長 宮林雄彦
 浄土宗開宗八百五
 準備事務局 長 土方了哉
 職員一同

浄土宗宗務庁
 京都市東山区林下町四〇〇一八
 〒605-0062 〇七五(五二)二二〇〇(代)
 F A X 〇七五(五二)一五一〇五
 東京都港区芝公園四一七一一四
 〒105-0011 〇三(三四三)三三五一(代)
 F A X 〇三(三四三)〇七四四
<http://jodo.or.jp>

日蓮宗

管 長 内野日総

宗務総長 小林順光

平成三十三年二月十六日に
 日蓮聖人降誕八百年を
 お迎えします



日蓮宗宗務院
 東京都大田区池上一一三二一五
 〒146-8544 〇三(三七五)二七一八
 F A X 〇三(三七五)二七一八
<http://www.nichiren.or.jp/>



新年お慶び申し上げます

総本山金剛峯寺 高野山真言宗

座長	中西 啓寶	宗務総長	添田 隆昭	執行部長	吉井 恵貫	国際学部長	小藪 実英	法会部長	稲葉 法研	執行部長	廣瀬 義仙	執行部長	山口 文章	数学部長	橋本 真人	法会部長	岩田 弘道	社会人局長	佐々木基文	奥之院維那	加古原大岳	伽藍維那	東 伸光
----	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------

和歌山県伊都郡高野町高野山一三三
〒648-0211 〇七三六(五六)二〇一一
FAX 〇七三六(五六)四六四〇
<http://www.koyasan.or.jp/>

臨濟宗妙心寺派宗務本所

管長	嶺 興嶽	宗務総長	栗原 正雄	総務部長	上沼 雅龍	教学部長	山本 文匡	財務部長	瑞岩 眞泰	本部会長	鮎川 博道	法務部長	島崎 義範	花園会館 部長(兼)	上沼 雅龍
----	------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	---------------	-------



京都市右京区花園妙心寺町六四
〒616-8035 〇七五(四六三)三二二二
<http://www.rnyoshinji.or.jp/>

天台宗



天台座主	森川 宏映	宗務総長	木ノ下寂俊	参務部長	阿部 昌宏	参務部長	長山 慈信	参務部長	田中 祥順	参務部長	中島 有淳	参務部長	角本 尚雄	参務部長	横山 照泰
------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------

大津市坂本四丁目六番二号
〒520-0113 〇七七(五七九)〇〇二二
FAX 〇七七(五七九)二五二六
<http://www.tendai.or.jp/>

真言宗智山派宗務所 総本山智積院法務所

管長	小峰 一允	宗務総長	小宮 一雄	総務部長	細川 大憲	教学部長	細川 大憲	教化部長	近藤 隆俊	法務部長	鵜飼 五大	財務部長	深澤 照生	宗務出張所 別院執事	近藤 昌俊
----	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	---------------	-------

京都市東山区東大路七条下ル
〒605-0951 〇七五(五四一)五三六一
<http://www.chisan.or.jp/>

真言宗豊山派宗務所

管長	加藤 精一	宗務総長	坂井 智宏	総務部長	増澤 秀丸	教務部長	菅野 秀浩	財務部長	中 正宣	教化部長	岩脇 彰信	教化センター長	吉田 敬岳	総合研究院院長	平井 宥慶
----	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	------	------	-------	---------	-------	---------	-------

東京都文京区大塚五一四〇一八
真言宗豊山派宗務所
〒112-0012 〇三(三九四五)〇六三九
<http://www.buzan.or.jp/>

新年お慶び申し上げます



天台真盛宗宗務所 総本山山西教寺

貫管 首長 西村 岡紹

宗務総長 執事 長 喚阿 宏道

教学部長 別所 泰広

社会部長 蜂谷 眞勝

庶務部長 大窪 功真

財務部長 真弓 佳章

滋賀県大津市坂本五十一三一一
〒520-0113 〇七七(五七八)〇〇一三
FAX 〇七七(五七八)三四一八

和宗総本山 四天王寺

管 長 森田 俊朗

清光院 健代 和央

地藏院 加藤 公俊

真光院 瀧藤 尊淳

施行院 南谷 恵敬

吉祥院 塚原 昭應

奥之院 宮崎 光映

東光院 出口 隆順

静専院 吉田 明良

宝泉寺 廣瀬 善重

一音院 坂本 峰徳

勝鬘院 山岡 武明

中之院 森田 惇朗

大阪府大阪市天王寺区四天王寺
一丁目十一番十八号
〒543-0051 〇六(六七七)〇〇六六
FAX 〇六(六七七)三(四九二)二
<http://www.shitennojior.jp/>

総本山仁和寺 真言宗御室派

管門 長 跡 立部 祐道

執行 宗務総長 瀬川 大秀

執行 総務部長 河西 孝典

執行 教学部長 八木 恵生

執行 財務部長 大石 隆淳

京都市右京区御室大内三三三
〒616-8092 〇七五(四六一)一一五五
FAX 〇七五(四六四)四〇七〇
<http://ninna.jp>

真言宗醍醐派宗務本庁 総本山醍醐寺寺務所

座管 主 長 仲田 順和

宗務総長 執行 長 壁瀬 宥雅

執行 総務部長 仲田 順英

執行 教学部長 田中 祐考

執行 財務部長 浦郷 宜右

京都市伏見区醍醐東大路町三二
〒601-1325 〇七五(五七一)〇〇〇二
FAX 〇七五(五七一)〇一〇一
<http://www.daijor.jp>
携帯電話でも御覧頂けます。



融通念佛宗 総本山大念佛寺

法管 主 長 倍巖 良舜

宗務総長 寺務総長 吉村 暲英

教学部長 法務部長 中江 慈光

庶務部長 岡田 眞澄

財務部長 会計部長 北川 全宏

大阪市平野区平野上町
一七二二六
〒547-0045 〇六(六七九)〇〇二六
FAX 〇六(六七九)三〇五〇
<http://www.dainenbutsuji.com/>



新年お慶び申し上げます



一天四海皆帰妙法 お題目総下種運動
咲かそう、いのち
—宗祖日蓮大聖人御聖誕800年—

法華宗（本門流）

管 長	石田 日信
宗務総長	二瓶 海照
総務部長	金井 孝顕
布教部長	久永 晃顕
教学部長	三吉 廣明
財務部長	清水 常光
企画部長	山田 庸温

東京都中央区日本橋人形町 二一九一
〒103-0013 〇三(五六一四)三〇五五
FAX 〇三(五六一四)三〇五六
<http://www.hokkeshu.or.jp>

法華宗（陣門流）

管 長	門谷 日悠
宗務総長	佐古 弘文
総務部長	牧野 秀成
教学部長	布施 義高
教化部長	松吉 慶憲
財務部長	金原 孝宜
企画部長	今井 満良

東京都豊島区巢鴨五―三五―六
〒170-0002 〇三(三九一八)七二九〇
FAX 〇三(三五七六)〇二二一

法華宗（真門流）

管 長	田仲 日紘
宗務総長	堀 智泰
総務部長	木村 完祥
教学部長	堀内 浩善
教化部長	加藤 順昭
財務部長	上田 泰源
社会部長	峰尾 泉栄

京都市上京区智恵光院通五辻上る 紋屋町三三〇
〒602-8447 〇七五(四四一)五七六二
FAX 〇七五(四四一)五六六六
<http://www.hokkeshu.jp/>

一般財団法人 埼玉県佛教会

会 長	萩野 映明
副会長	木村 盛雄
同	倉持 秀裕
専務理事	深谷 雅良
常務理事	加藤 玄静
同	糸原 恒久
同	山口 正純
事務局長	金子 嘉広

さいたま市浦和区高砂 四一三―一八
〒330-0063 〇四八(八六二)二二三八
FAX 〇四八(八六四)六六四九
<http://saibutu.net/>

神奈川県仏教会

会 長	和田 大雅
副会長	都築 哲信
同	木内 雍明
同	丸山 邦雄
同	宗澤 文良
事務局長	山本 昭弘

横浜市中区大平町九六 西有寺内
〒231-0859 〇四五(六六一)〇一六六

新年お慶び申し上げます



京都府仏教連合会

理事長 北川 一有
理事 佐々木 鴻昭
同 里雄 康意
同 栗原 正雄
同 小宮 一雄
同 壁瀬 宥雅
同 橋本 一妙
同 能登 春夫
同 久我 儼昭
同 築瀬 城諒
同 村山 孝純
同 柴山 昌実
同 豊田 元彦
監事 龍村 豊雄
同 鷺山 靖之
事務総長 鶴野 重雄

〒605 8686
〇七五(五三二)二二一一
京都府東山区林下町四〇〇
総本山知恩院内

大阪府佛教会

会長 井桁 雄弘
副会長 村山 廣甫
同 森 快隆
同 加藤 定厚
同 藪木 恵照
同 瀧藤 尊淳
同 丹農 秀知
事務局長 二上 寛弘
事務局長 (真言宗 釋迦院)

〒552 0021
〇六(六五七)一五七一〇
大阪府港区築港一十三一三
釋迦院内

公益財団法人 仏教伝道協会

代表理事 沼田 智秀
理事 木村 清孝
同 奈良 康明
同 上山 大峻
同 桂 紹隆
同 門脇 邦彦
同 野村 邦武
同 中谷 忠雄
同 生田 忠士
同 中野 東禅
同 松村 智司

〒108 0014
東京都港区芝四丁目三一―一四
電話 〇三(三四五)五八五一
FAX 〇三(三七九)二七五八
<http://www.bdk.or.jp>

金峯山修験本宗 総本山金峯山寺

管長 五條 良知
執行長 五條 永教

奈良県吉野郡吉野町吉野山二四九八
〒639 3115
〇七四六(三三)八三七一
FAX 〇七四六(三三)四五六三
<http://www.kinpusen.or.jp>

念法真教 総本山小倉山金剛寺

燈主 稲山 靈芳

〒538 0054
〇六(六九一)二二〇一
大阪府鶴見区緑三十四―二二
<http://www.nenpoushinkyou.jp>

真言三宝宗 大本山清澄寺

管長 坂本 光謙
法主 岡田 康秀
宗務長 有井 良隨
執行長 森藤 光宣
鉄斎美術館 長

宝塚市米谷字清シ一番地
〒665 0837
〇七九七(八六)六六四一
FAX 〇七九七(八六)六六六〇
<http://www.kiyoshikoji.or.jp>

信貴山真言宗 総本山朝護孫子寺

管長 田中 眞瑞
前管長 鈴木 貴晶
長老 鈴木 鳳永
宗務長 野澤 密孝
寺務長

〒636 0923
〇七四五(七一)二二七七
奈良県生駒郡平群町信貴山
二二八〇一



新年お慶び申し上げます

真宗高田派 本山専修寺

宗務総長 安藤 光淵

総務 藤森 邦夫

総務 鈴木 紀生

三重県津市一身田町二八一九番地
〒514-0114 〇五九(二三三)四一七一
FAX 〇五九(二三三)一四一四

臨済宗南禅寺派 大本山南禅寺

管長 中村 文峰

宗務総長 蓮沼 良直

内局 一同

京都市左京区南禅寺福地町86
〒606-8435 〇七五(七七二)〇三六五
FAX 〇七五(七七二)六九八九

黄檗宗

管長 近藤 博道

宗務総長 盛井 幸道

京都府宇治市五ヶ庄三番割三四
〒611-0011 〇七七四(三三)三九〇〇
FAX 〇七七四(三三)六〇八八

顕本法華宗

管長 山本 日恵

宗務総長 島田 幸晴

顕本法華宗宗務院
京都市左京区岩倉幡枝町九十一
〒606-0015 〇七五(七九一)七二七一
FAX 〇七五(七九一)七二六七

本門佛立宗 本山宥清寺

講有 山内 日開

宗務総長 木村 日覚

本山宥清寺
〒602-8336 京都市上京区一条通七本松西入
滝ヶ鼻町一〇〇五番地の一
TEL 〇七五(四六三)四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六三)四六五一
本門佛立宗 宗務本庁
〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る
東堅町一〇番地
TEL 〇七五(四六一)一一六六(代)
FAX 〇七五(四六四)五五九九
京都佛立ミュージアム
TEL 〇七五(二八八)三三四四
URL <http://www.hbrunseum.jp>
E-mail: honchoutai@honnon-hutsuryushu.or.jp

真言律宗 総本山西大寺

真言律宗管長 大矢 實圓

真言律宗宗務長 松村 隆誉
総本山西大寺 執事 長

奈良市西大寺芝町一丁目一の五
〒631-0825 〇七四二(四五)四七〇〇
FAX 〇七四二(四五)四七二〇

福島県仏教会

会長 石田 宏壽

専務理事 伊東 寂俊

事務局長 三瓶 信晃

福島県郡山市開成三十三一十四
道因寺内
〒963-8851 〇二四(九三三)三〇三一
FAX 〇二四(九三三)三〇九六

東京都仏教連合会

会長 八木 季生

理事長 新美 昌道

事務局長 新倉 典生

東京都足立区梅田一―二十六―十
善立寺内
〒123-0851 〇三(三八八六)一三六七
FAX 〇三(三八八六)八二五二

愛知県仏教会

会長 伊藤 正導

副会長 舍人 経昭

同 近藤 太康

同 岩木 涼山

名古屋市中区植田一―三十一―
全久寺内
〒468-0051 〇五二(八九三)九二九〇
FAX 〇五二(八九三)九二九〇

愛媛県仏教会

会長 福村 俊弘

副会長 内藤 卓洲

同 岡田 敬学

事務局長 怒和 智幸

愛媛県松山市安城寺町一―二七―
安祥寺内 愛媛県仏教会事務局
〒791-8006 〇八九(九七九)〇〇六九

新年お慶び申し上げます



公益社団法人
全日本仏教
婦人連盟

名誉会長 鷹司 誓玉
会長 東伏見具子
理事長 末廣 久美
事務局長 小棹ふみ子

東京都渋谷区千駄ヶ谷
四一五十一二〇五
〒151-0051 〇三(五七七二)〇六七七
FAX 〇三(六四三四)〇一八四
<http://jbwf.jp>
E-mail:info@jbwf.jp

聖観音宗 浅草寺

貫首 田中 昭徳

東京都台東区浅草二一三一一
〒111-0032 〇三(三八四二)〇一八一
FAX 〇三(三八四五)六九三三

孝道教団

統理 岡野 正純

横浜市神奈川区鳥越三八
〒221-0064 〇四五(四三二)一二〇一
FAX 〇四五(四三四)一一八八

真言宗大覚寺派宗務庁 大本山大覚寺

管門 長 跡 黒沢 全紹

京都市右京区嵯峨大沢町四
〒616-8411 〇七五(八七二)〇〇七一
FAX 〇七五(八七二)〇〇五五

総本山 根来寺

新義真言宗宗務所

和歌山県岩出市根来二二八六
〒649-6202 〇七三六(六二二)一一四四
FAX 〇七三六(六二二)一〇四四

真言宗須磨寺派 大本山須磨寺

貫主 小池 弘三

神戸市須磨区須磨寺町四一六一八
〒654-0071 〇七八(七三二)〇四一六

真言宗中山寺派

大本山 中山寺

宝塚市中山寺二丁目十一一
〒665-8588 〇七九七(八七七)〇〇二四
FAX 〇七九七(八七七)九八七七
<http://www.nakayamadera.or.jp>

東寺真言宗

宗務総長 橋本 尚信

京都市南区九条町一
〒601-8473 〇七五(六七二)三七一七
FAX 〇七五(六六一)六八五六

西山浄土宗 総本山光明寺

京都府長岡京市粟生西条の内
一六番地の一
〒617-0811 〇七五(九五五)〇〇〇二
FAX 〇七五(九五三)二二六四

東京別院
東京都町田市小山ヶ丘一―一―一
〒194-0215 〇四二(七九四)八五八五
<http://www.konjyo-ji.or.jp/>

時宗

宗務総長 桑原 弘善

神奈川県藤沢市西富一―八―一
〒251-0001 〇四六六(二二三)七二七六
遊行寺内

臨濟宗円覚寺派

大本山 円覚寺

鎌倉市山ノ内四〇九
〒247-8503 〇四六七(二二二)〇四七八
FAX 〇四六七(二二三)三〇二七
<http://www.engakuji.or.jp>

臨濟宗相国寺派

大本山 相国寺

京都市上京区今出川通烏丸東入
相国寺門前町七〇一番地
〒602-0898 〇七五(二二三)〇三〇一
FAX 〇七五(二二二)三五九一
<http://www.shokoku-ji.jp>

北海道仏教会連盟

会長 黒田 正宣

札幌市中央区北三条西十九丁目二―一
〒060-0003 〇一一(六一二)九六二三
浄土真宗本願寺派北海道教区教務所内

茨城県仏教会

会長 松本 一浩

茨城県筑西市甲一六八 藏福寺内
〒308-0021 〇二九六(二四〇)一四九九
FAX 〇二九六(二五)五九〇九



新年お慶び申し上げます

山梨県仏教会

会 長 渡邊 正乗

山梨県大月市大月町真木四二二九
福正寺内
〒401-0016 〇五五四(二二)〇八〇七
FAX 〇五五四(五六)七二三四

岐阜県仏教会

会 長 橘 正信

岐阜市西野町三一
岐阜西別院庫裡
〒500-8882 〇五八(二六六)七八〇三
FAX 〇五八(二一四)四〇八一
<http://bukkyogifu.net/>

滋賀県仏教会

会 長 西村 冨紹

滋賀県大津市坂本五一一三一
総本山西教寺内
滋賀県仏教会事務局
〒520-0113 〇七七(五七八)〇〇一三
FAX 〇七七(五七八)三四一八

岡山県佛教会

会 長 本山 瑞峰

岡山県倉敷市児島通生三二七
般若院内
〒711-0933 〇八六(四七〇)五九五九

公益社団法人 日本仏教保育協会

理事長 緑谷 一雄

東京都港区芝公園四一七一四
明照会館二階
〒105-0011 〇三三(三四三)七四七五
FAX 〇三三(三四三)一五一九

全日本仏教青年会

理事長 東海林 良昌

宮城県塩竈市南町十一一雲上寺内
〒985-0053 〇二二(三六四)八九三六
<http://www.jyban.jp/>
E-mail: info@jyban.jp

日本仏教鑽仰会

理事長 中山 秀成

東京都板橋区舟渡四一五五一
〒174-0041 〇三三(三九六七)三二八八

一般社団法人 仏教情報センター

理事長 長谷川 岱潤

東京都文京区本郷
一四一六一二〇二
〒113-0033 〇三三(三八一三)六五七七
FAX 〇三三(三八一三)六七九四

日韓仏教交流協議会

会 長 藤田 隆乗

神奈川県川崎市川崎区大師町四一四八
川崎大師平間寺教化部内
〒210-8521 〇四四(二六六)三四二〇
FAX 〇四四(二七七)八一六三

天台寺門宗
妙見宗

真言宗善通寺派

真言宗山階派

真言宗泉涌寺派

真言宗国分寺派

真言宗犬鳴派

浄土宗西山禅林寺派

浄土宗西山深草派

真宗佛光寺派

真宗興正派

真宗木辺派

臨済宗建長寺派

臨済宗天龍寺派

臨済宗東福寺派

本門法華宗

法相宗

聖徳宗

華嚴宗

律宗

青森県仏教会

岩手県仏教会

栃木県仏教会

群馬県仏教連合会

千葉県仏教会

新潟県仏教会

福井県仏教会

長野県仏教会

静岡県仏教会

京都仏教会

兵庫県仏教会

和歌山県仏教会

鳥取県仏教連合会

鳥根県仏教会

(二社)徳島県仏教会

香川県仏教会

高知県仏教会

福岡県仏教連合会

長崎県仏教連合会

宮崎県仏教連合会

沖縄県仏教会

(公財)国際仏教興隆

協会

東京ブレイス・クラブ

(二社)在家仏教協会

哀悼

半田孝淳 師 (本会第30期会長) 天台座主 12月14日遷化 98歳

新年お慶び申し上げます



賛助会員 十二月十四日現在 (敬称略)

【特別会員】

大本山東福寺 遠藤 楚石
蓮華院誕生寺 川原 英照
尾道仏教会 村上 邦雄
實相山中央寺 南澤 道人
信州善光寺 若麻 敏隆
妙見閣寺 竹内 日祥
一般社団法人仙台仏教会
壺阪山南法華寺 常盤 勝範

【団体会員】

京セラ株式会社
東映株式会社
株式会社カナメ (建築)
株式会社ビタコラム (建築)
大建工業株式会社 (建築)
日鐵住金建材株式会社 (建築)
松井建設株式会社 (建設)
総合警備保障株式会社 城東支社
東京海上日動火災保険株式会社
広域法人部法人第一課
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
大和証券株式会社 営業サポート部
野村證券株式会社 金融公共公益法人部
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
(ビジネスソリューション)
朝日ビジネスソリューション株式会社
(コンサルティング)
株式会社大陸旅遊 (旅行)
株式会社阪急阪神ビジネスホテル (旅行)
株式会社ビーエス観光 (旅行)
株式会社JTBコーポレートセールス
第一事業部 (旅行)
近畿日本ツーリスト株式会社 (旅行)
東武観光株式会社 (旅行)
東武トップツアー株式会社 (旅行)
日本空輸株式会社 (旅行・貨物)
株式会社わらび座 (旅館・劇団)

一般財団法人ライフプランニングセンター
(医療関連)
日本テンプルヴァン株式会社
(寺院経営コンサルタント)
有限会社新宿アカウンティングオフィス
(経営コンサルティング)
株式会社さくら経営 (経営コンサルティング)
株式会社緑
(寺社仏閣総合リスクコンサルタント)
一般社団法人L.O.S相談センター
(相続サポート)
株式会社スペースマーケット (イベント)
株式会社エコ・マイニング (リサイクル)
株式会社図書印刷同朋舎 (印刷)
ティケイヘンデルアート (印刷)
凸版印刷株式会社 (印刷)
株式会社オメガ・コミュニケーションズ
(翻訳、出版物企画・制作)
株式会社ディー・エイ・ティ・コーポレーション
(出版物企画・制作)
新日本法規出版株式会社 (法規図書出版)
株式会社北隆館 (出版)
株式会社便利堂 (美術印刷・企画)
有限会社ルンビニ (保険代理店)
株式会社京念珠刑部 (念珠製造・販売)
株式会社京扇堂 (扇子製造・販売)
株式会社小堀 (仏壇仏具製造・販売)
株式会社若林工藝舎 (文化財保存修理)
株式会社公益社 (葬祭)
株式会社みんなのお葬式 (葬祭)
株式会社ダイセイ (総合商社)
株式会社安震 (石材業)
株式会社いせや (石材業)
仏教看護・ビハラー学会
一般社団法人仏教検定協会
全日本葬祭用具協同組合
全日本葬祭業協同組合連合会
岩手県葬祭業協同組合
埼玉葬祭業協同組合
東京都葬祭業協同組合

神奈川県葬祭業協同組合
岐阜県葬祭業協同組合
名古屋葬祭業協同組合
愛知県葬祭業協同組合
京都中央葬祭業協同組合
大阪葬祭業協同組合
大阪市規格葬儀指定店事業協同組合
徳島県中央葬祭業協同組合
福岡県葬祭業協同組合
長崎県葬祭業協同組合
一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会
一般社団法人日本石材産業協会

【個人会員】

稲盛 和夫 (京セラ株式会社名誉会長)
社本 公一 (公認会計士)
石上 智康 (浄土真宗本願寺派 総長)
高橋 篤法 (浄土真宗本願寺派 副総務)
池田 行信 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
塩月 光夫 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
武田 昭英 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
村橋 吉重 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
天性寺 毛利 俊行 (山形県)
福聚院 伊達 廣三 (宮城県)
東榮寺 大森 篤史 (埼玉県)
法瑠寺 矢島 浄純 (埼玉県)
建福寺 安野 正樹 (埼玉県)
萬福寺 垣内 善勝 (東京都)
慈眼寺 櫻井 英幸 (東京都)
浄心寺 佐藤 雅彦 (東京都)
信松院 西村 輝成 (東京都)
玉林禅寺 長谷 琢堂 (東京都)
慶安寺 深澤 信善 (東京都)
廣徳寺 板坂 光明 (神奈川県)
大蔵寺 佐藤 直道 (神奈川県)
金蔵院 眞田 有快 (神奈川県)
龍泉寺 壽山 良光 (神奈川県)
圓満寺 西郊 良光 (神奈川県)
正泉寺 野澤 隆幸 (神奈川県)
玄向寺 荻須 眞教 (長野県)

本光寺 木村 光正 (静岡県)
十楽寺 井口 真躍 (滋賀県)
寂光院 松平 實胤 (愛知県)
光泉寺 松山 公顯 (愛知県)
太福寺 佐久間大道 (兵庫県)
精明寺 正田 哲壽 (鳥取県)
誓光寺 村上 智真 (山口県)
川村 進 (千葉県)
小川 昌美 (東京都)
小林 昇 (東京都)
鈴木 朝雄 (東京都)
鳥居 邦夫 (東京都)
天久保 貴 (神奈川県)
佐藤 泰之 (神奈川県)
中村美津江 (神奈川県)
東田 樹治 (神奈川県)
田中 悠樹 (長野県)
山崎 忠征 (愛知県)
中村 澄枝 (京都府)
安田 容造 (京都府)
平野 泰寛 (和歌山県)
和心庵 井上美和子 (佐賀県)
岩屋 毅 (自由民主党衆議院議員)
大塚 高司 (自由民主党衆議院議員)
金子 恭之 (自由民主党衆議院議員)
上川 陽子 (自由民主党衆議院議員)
河村 建夫 (自由民主党衆議院議員)
高村 正彦 (自由民主党衆議院議員)
小島 敏文 (自由民主党衆議院議員)
今野 智博 (自由民主党衆議院議員)
佐藤ゆかり (自由民主党衆議院議員)
関 芳弘 (自由民主党衆議院議員)
高市 早苗 (自由民主党衆議院議員)
野田 毅 (自由民主党衆議院議員)
平沢 勝栄 (自由民主党衆議院議員)
牧島かれん (自由民主党衆議院議員)
松本 文明 (自由民主党衆議院議員)
三原 朝彦 (自由民主党衆議院議員)
赤石 清美 (自由民主党衆議院議員)
岩城 光英 (自由民主党衆議院議員)



新年お慶び申し上げます

- 片山 さつき (自由民主党参議院議員)
- 小坂 憲次 (自由民主党参議院議員)
- 武見 敬三 (自由民主党参議院議員)
- 中川 雅治 (自由民主党参議院議員)
- 二之湯 智 (自由民主党参議院議員)
- 早坂 義弘 (自由民主党東京都議会議員)
- 赤松 広隆 (自由民主党参議院議員)
- 荒井 聰 (自由民主党参議院議員)
- 枝野 幸男 (自由民主党参議院議員)
- 大串 博志 (自由民主党参議院議員)
- 高木 義明 (自由民主党参議院議員)
- 田島 一成 (自由民主党参議院議員)
- 原口 一博 (自由民主党参議院議員)
- 前原 誠司 (自由民主党参議院議員)
- 大塚 耕平 (自由民主党参議院議員)
- 大野 元裕 (自由民主党参議院議員)
- 斎藤 嘉隆 (自由民主党参議院議員)
- 白 眞勲 (自由民主党参議院議員)
- 林 久美子 (自由民主党参議院議員)
- 福山 哲郎 (自由民主党参議院議員)
- 前田 武志 (自由民主党参議院議員)
- 松本 謙公 (自由民主党参議院議員)
- 中山 恭子 (自由民主党参議院議員)
- 浅尾 慶一郎 (自由民主党参議院議員)
- 松本 剛明 (自由民主党参議院議員)
- 大西 孝典 (自由民主党参議院議員)
- 楠田 大蔵 (自由民主党参議院議員)
- 仙谷 由人 (自由民主党参議院議員)
- 長勢 甚遠 (自由民主党参議院議員)
- 西川 京子 (自由民主党参議院議員)
- 保利 耕輔 (自由民主党参議院議員)
- 和田 隆志 (自由民主党参議院議員)
- 佐藤 公治 (自由民主党参議院議員)
- 佐藤 泰介 (自由民主党参議院議員)
- 自見 庄三郎 (自由民主党参議院議員)
- 鈴木 寛 (自由民主党参議院議員)
- 鈴木 政二 (自由民主党参議院議員)
- 田名部 匡省 (自由民主党参議院議員)
- 谷川 秀善 (自由民主党参議院議員)
- 藤谷 光信 (自由民主党参議院議員)

第三十一期役員

- 会長** 加藤 精一
- 副会長** 常盤井慈祥
- 評議員** 石田 智圓、鷹司 誓玉
- 顧問** 佐々木孝一、橋 正信、柴田 達也、里見 法雄、渡邊 照敏、鈴木 英全、松井 宗益、杜多 道雄、上杉 照延、川田 聖成
- 理事長** 齋藤 明聖
- 理事** 千葉 省三、倉澤 豊明、戸松 義晴、塩崎 望巳、添田 隆昭、上沼 雅龍、杜多 徳雄、山口 正純、菅野 秀浩、瀧藤 尊淳、岡野 正純、桶屋 良祐、石堂 恵眼、山田 一眞

- 監事** 井桁 雄弘、古澤 勝浩、山中 一郎
- 顧問弁護士** 長谷川正浩
- 総務財政審議会** 山崎 孝裕、尾井 貴童、下野 真人、浦野 瑞明、中川 法政、廣瀬 義仙、上沼 雅龍、阿部 昌宏、深澤 照生、中 正宣、木村 匡成、生田 忠士
- 社会・人権審議会** 我孫子高宏、宇野 哲哉、寺田 正寛、山北 光彦、三原 正資、佐々木基文、森 昌寛、角本 尚雄、近藤 隆俊、阿部 秀全
- 和田 大雅、杉山 令憲、伊藤 正尊、長澤 香静、鶴野 重雄

- 国際交流審議会** 古溪 理哉、野崎 慶至、藤田 哲史、宮林 雄彦、佐々木康文、小藪 実英、松山 大耕、奥山 元照、小鷹 正人、吉田 敬岳、久野 晃秀、日々野郁皓、村山 博雅
- 宗教教育推進委員会** 盛田 正憲、白川 了信、勅使 忍、新谷 仁海、斎藤 憲一、倉岡 弘叔、細川 晋輔、中島 有淳、渡邊 照敬、森 光彦、富田 道生、菅原 節生、佐藤 元紀、関根 隆紀
- 蜂谷 眞勝、株橋 隆真、篠田 節子、高木 佳子、平野 武

- WFB日本セブン夕日運営委員会** 小林 正道、戸松 義晴、日比野郁皓、村山 博雅、木内 隆志、壽山 良光、入西 智彦、新倉 典生、岩田 智充、末廣 久美、村山 博雅、茅野 俊幸、藤森 雄介、長谷川正浩
- 宗派代議員** 喚阿 宏道、五條 永教、座間 光覚、守山 雄順
- 辻本 祐子、海老原 章、浅野 義光、富川 大亮、山口 文章、松原 信樹、福井 邦彦、杉本 栄次、杉山 晶信、金子 嘉広、新倉 典生、吉水 智栄、小川 淳詩、高山 久照

- 吉田 明良、草野 貞男、小川 良博、福井 孝範、菅 智潤、菅川 大秀、瀬川 浩哉、藤田 信樹、福井 邦彦、糟谷 眞教、小池 陽人、今井 章圓、岡田 康秀、野澤 密孝、貞吉 興道、吉村 増亮、久我 儼昭、加藤 良邦、日下 俊精、藤森 邦夫、八木 浄顯、桑原 弘善、中江 慈光、齋藤 宗徹、高井 正俊、高井 瑞峰、本山 承昭、岡部 義典、乃村 龍決、怒和 智幸、伊東 聖隆、一月 正人、弘中 康之、仲尾次敏雄、末廣 久美、生田 忠士、高山 久照、逸見 道郎

都道府県仏教会・仏教団体代議員

- 根岸 榮宏、伊東 政浩、中山 秀成、高橋 隆岱、西郊 良光、上村 隆利 (敬称略)
- 黒田 正宣、工藤 裕雅、上田 浩久、石田 宏壽、松本 一浩、若槻 繁隆、萩野 映明、新倉 典生、井澤 孝一、和田 博祐、渡邊 正乘、萩須 眞教、橘 正信、石川 浩徳、舍人 経昭、前阪 良憲、吉田 清順、北川 一有、村山 廣甫、篠原 法傳、柳瀬 智明、正田 哲寿、本山 瑞峰、岡部 義典、乃村 龍決、怒和 智幸、伊東 聖隆、一月 正人、弘中 康之、仲尾次敏雄、末廣 久美、生田 忠士、高山 久照、逸見 道郎

財団創立六十年周年記念事業実行委員会

- 実行委員長** 齋藤 明聖
- 実行副委員長** 千葉 省三
- 勸募部会** 阿部 昌宏

新年お慶び申し上げます

吉田 明良 金子 史朗 川島 俊之 細田 昌弘 中 正宣 菅 智潤 河西 孝典 小池 陽人 野澤 密孝 宮林 雄彦 高谷 哲朗 畔柳 正倫 櫻井 随峰 野生 司祐宏 徳永 誠 久世 宜範 中江 慈光 細川 晋輔 梅 承昭 山木 雅晶 渡邊 雪雄 加藤 憲七 風間 随修 秋葉 敬真 平岡 昇修 笹尾 正道 木村 盛雄 新倉 典生 佐藤 功岳 岩木 涼山 前阪 良憲 荒木 元悦 飯田 尚宣 加藤 定厚 西溪 光照 正田 哲寿 本山 瑞峰

岡部 義典 乃村 龍決 伊東 聖隆 一月 正人 弘中 康之 末廣 久美 古澤 勝浩 高山 久照 根岸 榮宏 中山 秀成 西郊 良光 宮川 宏生 全日本仏教徒 会議・記念式 会 徳部 会 武久 宗靖 三吉 廣明 牧野 秀成 工藤 裕雅 上田 浩久 伊東 寂俊 松本 一浩 井上 広法 和田 博祐 磯貝 大徹 萩須 眞教 梶浦 琢磨 伊東 政浩 金子 嘉広

小林 正道 日比野郁皓 記念誌編集委員会 福田 芳修 三吉 廣明 高山 久照 岩田 智充 上村 隆利 池田 行信 山本 観晃 入西 智彦 (敬称略) 事務総局 事務総長 倉澤 豊明 総務部 奈良 慈徹 中村 甲 山崎美由紀 財務部 大辻 隆善 小山 智恵 社会・人権部 久喜 和裕 町田 法博 広報文化部 加久保範祐 西野 良嘉 国際部 和多 靖之 藤田 宗玄 嘱託 酒井 仁成 関西支局長 東森 尚人 支局員一同

Inter Faith 駅伝2016開催

第三回目となるInter Faith 駅伝(諸宗教間交流駅伝以下「I-F 駅伝」)を、本年二月二十一日京都マラソン2016に併設し開催することが決定した。I-F 駅伝は、国内外の宗教者四十名が十チームに分かれ、異なる宗教間でタスキを繋ぎ、教義の違いを超え、世界平和を願いゴールを目指す、諸宗教間交流の新しい取り組みである。



当日は、京都マラソン2016のコース上にある宗教施設等を中心所とし、十チーム計四十名の宗教者が、都大路を駆け抜ける。

開催概要

日時：二〇一六年二月二十一日

午前九時スタート

コース：京都マラソン2016と同コース

主催：Inter Faith 日本実行委員会
後援：京都市、(公財)日本宗教連盟、京都府宗教連盟

詳細はHPを参照

<http://interfaith-japan.com/>

災害救援活動に対する助成金拠出のご案内(第十二次)

■支援対象事業

寺院(住職・教師等)が主体の団体による、被災地域住民のために行う事業
●被災地におけるボランティア活動(例：避難所設置、炊き出し、傾聴ボランティア、瓦礫撤去、足湯等)
●被災地の子どもを対象とした保養事業(例：被災地の子どもを他地域に招いての寺子屋・キャンプ開催など)

※同一団体からの申請は一事業一件のみといたします。また同一事業複数開催は、全体で一事業とみなします

■申請対象活動期間

平成二七年十月一日〜平成二八年一月三十一日

■助成金額

一件につき事業経費の三十%、十万円を上限に拠出

■申込(申請書)締め切り

平成二八年二月十五日(月)十六時まで
に申請書類本会必着のこと

■申込方法

本会ホームページから各書式をダウンロードし、もれなく記入して郵送にてご提出ください。その他必要な添付書類も一緒に添えて申請してください。

申請書のダウンロード等、詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

http://www.jbf.ne.jp/activity/rescue_operations.html


無料法律相談室

本会顧問弁護士長の長谷川正浩先生が、寺院向け無料法律相談を開催しております。(主に第一・第四木曜日要事前予約)



TEL.03-3437-9275
社会・人権部までお問合せ

無料税務相談室

- 日時：原則として毎月第2金曜日の午後1時から午後5時(原則一人三十分)
- 会場：公益財団法人 全日本仏教会事務総局(内容によっては電話にて対応いたします)
- 担当： 朝日税理士法人(木村匡成、高尾英一、松山浩也各氏ほか)
- お申込みの詳細については、本会HPをご覧ください

TEL.03-3437-9275
財務部までお問合せ

賛助会員募集中

本会では賛助会員を募集しております。全国のご寺院をはじめ、個人や団体としてご入会いただけます。入会等の詳細は本会ホームページをご覧ください。

入会者には輪袈裟が進呈されます



事務総局録事

10月(1日~15日)

- 1日 ▶大村印刷(株)是永氏他来局 事務総局
- 2日 ▶第31期第4回社会・人権審議会開催 東京・明照会館会議室
- 5日 ▶第37回埼玉県佛教徒大会出席 埼玉・真浄寺吉祥閣
- ▶民主党との意見交換会出席 東京・赤坂
- 6日 ▶全日本葬祭業協同組合連合会第60回全国神奈川大会出席 神奈川・横浜ロイヤルパークホテル
- 8日 ▶台北駐日経済文化代表處国慶節参加 東京・帝国ホテル
- ▶松井建設(株)中山氏来局 事務総局
- ▶DAT伊藤氏他来局 事務総局
- ▶曹洞宗宗務庁訪問 東京・曹洞宗宗務庁
- ▶民間の朝鮮半島出身者の遺骨返還問題に関わる関係各省庁と意見交換 事務総局
- ▶無料法律相談開催 事務総局
- 9日 ▶朝日ビジネスソリューション(株)木村氏他来局 事務総局
- ▶ホリプロ田中氏来局 事務総局
- 13日 ▶DMG森精機(株)訪問 東京・東京グローバルヘッドクォーター
- 14日 ▶同宗連第30回教団行政責任者研修会出席 京都・京都センチュリーホテル
- ▶浄土宗大本山増上寺法主八木季生台下訪問 東京・増上寺
- ▶曹洞宗宗務庁訪問 東京・曹洞宗宗務庁
- ▶(株)大塚商会熊川氏来局 事務総局
- 15日 ▶第49回仏教伝道文化賞贈呈式出席 東京・仏教伝道センタービル
- ▶第31期第3回国際交流審議会開催 事務総局

10月(16日~31日)

- 16日 ▶青森県仏教会訪問 青森・本迹院
- ▶自由民主党本部岩松氏訪問 東京・自由民主党本部
- ▶日本テンプルヴァン(株)井上氏来局 事務総局
- 19日 ▶BNN企画委員会出席 東京・庭野平和財団
- ▶淑徳大学教授藤森氏来局 事務総局
- ▶ALSOK永野氏他来局 事務総局
- 20日 ▶詔禪師650回大遠忌法要出席 神奈川・総持寺
- ▶(株)若林工芸舎訪問 京都・若林工芸舎
- 21日 ▶真言宗豊山派宝仙寺富田師訪問 東京・宝仙寺
- ▶大和証券(株)京都支店訪問 京都・大和証券京都支店
- ▶(株)小堀訪問 京都・小堀
- ▶真言宗智山派第121次教区代表会にて本会事業説明 京都・真言宗智山派宗務庁
- ▶無料法律相談開催 事務総局
- 22日 ▶文部科学省初等中等教育局教育課程課課長補佐美濃氏訪問 東京・文部科学省
- ▶本会機関誌「全仏」リニューアルプレゼンテーション 事務総局
- ▶局内会議 事務総局
- 23日 ▶第4回世界佛教フォーラム出席(〜26日) 中国・無錫市
- ▶第43回全日本仏教徒会議愛媛大会実行委員会事前打ち合わせ出席 愛媛・多聞院
- ▶第43回全日本仏教徒会議愛媛大会第14回実行委員会出席 愛媛・小倉聖苑築山ホール
- ▶全日本葬祭業協同組合連合会訪問 東京・全日本葬祭業協同組合連合会事務所
- ▶日鐵住金建材(株)石河氏・向井氏来局 事務総局
- ▶エンディング産業展事務局森氏来局 事務総局
- 26日 ▶第62回公益社団法人全日本仏教婦人連盟大会出席 東京・ザ・キャピトルホテル東急
- ▶金峯山修験本宗五條良知管長就任披露宴出席 大阪・シェラトン都ホテル大阪
- ▶宗教法人制度の運用等に関する調査協力者会議出席 東京・文化庁
- ▶全日本宗教用具協同組合小堀理事長旭日小綴章受章祝賀会出席 京都・京都ホテルオークラ
- ▶第43回全日本仏教徒会議愛媛大会局内事前会議 事務総局
- 27日 ▶黄檗宗第62代住持新命博道師晋山式出席 京都・萬福寺
- ▶大村印刷(株)是永氏他来局 事務総局
- 28日 ▶第12回国際仏教興隆協合理事会出席 東京・増上寺会館
- 29日 ▶全日本葬祭業協同組合連合会主催葬儀事前相談員資格認定講習会講師派遣 宮城・仙台ガーデンパレス

- 30日 ▶第43回 全日本仏教徒会議愛媛大会開催(〜31日) 愛媛・ひめぎんホール

11月(1日~15日)

- 2日 ▶芝中・高等学校副校長佐藤元紀氏来局 事務総局
- ▶自由民主党組織本部長山口氏来局 事務総局
- ▶朝日ビジネスソリューション(株)来局 事務総局
- ▶DAT伊藤氏来局 事務総局
- 4日 ▶全日本葬祭業協同組合連合会松本氏他来局 事務総局
- ▶局内会議 事務総局
- 5日 ▶(株)公益社訪問 京都・(株)公益社本社
- ▶自由民主党国土強靱化総合調査会「国土強靱化総合調査会第100回記念会」参加 東京・衆議院第1議員会館
- 6日 ▶第32期会長・副会長推戴候補者推薦委員会 京都・しんらん交流館
- ▶第12回理事会開催 京都・しんらん交流館
- ▶記者会見開催 京都・しんらん交流館
- 9日 ▶ヤフー(株)訪問 東京・ミッドタウン・タワー
- ▶第6回支援検討会議開催 事務総局
- 10日 ▶NHK首都圏センター法花氏来局 事務総局
- ▶(株)阪急阪神ビジネスラベル 鈴木氏来局 事務総局
- ▶松井建設(株)中山氏来局 事務総局
- ▶全日本葬祭業協同組合連合会との懇談会開催 東京・品川プリンスホテル
- 11日 ▶(公財)日本宗教連盟宗教法人実務担当者研修会出席 鳥取・ホープスターとっとり
- ▶平成27年分年末調整等説明会出席 東京・メルパルクホール
- 12日 ▶(株)阪急阪神ビジネスラベル下里氏訪問 東京・KHD東京ビル
- ▶DAT伊藤氏来局 事務総局
- ▶BNN企画委員会出席 東京・庭野平和財団
- ▶無料法律相談開催 事務総局
- 13日 ▶日本能率協会石井氏来局 事務総局
- ▶第31期第3回総務財政審議会開催 事務総局

11月(16日~30日)

- 16日 ▶大和証券(株)佐藤氏来局 事務総局
- ▶日本弁護士連合会講演会出席 東京・弁護士ビル
- ▶局内会議 事務総局
- 17日 ▶DAT伊藤氏来局 事務総局
- ▶内閣府公益認定等委員会立ち入り検査 事務総局
- 18日 ▶曹洞宗宗務庁訪問 東京・曹洞宗宗務庁
- 19日 ▶プラットフォーム情報交換会打合せ 事務総局
- 20日 ▶法華宗(本門流)大本山本能寺訪問 京都・本能寺
- ▶第2回IF日本実行委員会出席 京都・普門館
- 21日 ▶唐招提寺「秋の御影堂特別公開」拝観 奈良・唐招提寺
- 24日 ▶文化庁宗務課来局 事務総局
- 25日 ▶結成50周年記念大阪府佛教徒大会出席 大阪・ホテル日航大阪
- ▶真言宗豊山派訪問 東京・真言宗豊山派宗務所
- ▶全日本仏教徒会議愛媛大会内藤卓洲実行委員長他来局 事務総局
- ▶(公財)日本宗教連盟第3回理事会出席 事務総局
- 26日 ▶厚生労働省年金局事業管理課来局 事務総局
- ▶加藤精一本会会長訪問 東京・南蔵院
- ▶無料法律相談開催 事務総局
- 27日 ▶大和証券(株)訪問 東京・大和証券(株)本社
- ▶曹洞宗大本山総持寺訪問 東京・総持寺
- ▶第32回仏教主義学校連盟弁論大会出席 東京・立正中学校・高等学校
- ▶(公財)仏教伝道協会財団創立50周年祝賀会出席 東京・ホテルニューオータニ
- ▶災害支援情報交換会出席 東京・明照会館会議室
- 29日 ▶自由民主党立党60周年記念式典参加 東京・グランドプリンスホテル新高輪
- 30日 ▶比叡山宗教サミット30周年記念「世界宗教者平和の祈りの集い」開催準備第2回懇談会出席 京都・新都ホテル
- ▶第13回(公財)国際仏教興隆協合理事会出席 東京・明照会館会議室
- ▶(公財)国際仏教興隆協会 第1回再生活性化委員会出席 東京・明照会館会議室

●お詫び No.614(11月)号5ページ上段2行目 訂正してお詫び申し上げます。(誤)一般社団法人埼玉県佛教会 (正)一般財団法人埼玉県佛教会

●「寺院が知っておきたい法律知識」はお休みします。

●2月は休刊します。

シリーズ累計頒布枚数20万枚以上!!

花まつり

ポスター、1/10頒布開始!!

全日本仏教会では花まつりの全国展開を推進すべくさまざまな花まつりポスターを頒布しています。本年はお稚児さんのポスターを全面リニューアルいたしました。是非、皆様の花まつり告知にご活用ください!

新デザイン

<短冊サイズ>

【ポスター1】お稚児



【ポスター2】お稚児

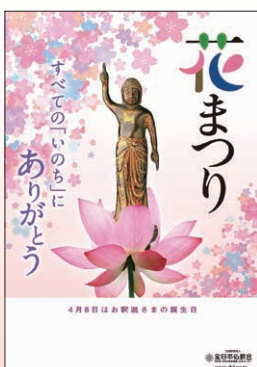


お稚児さんのかわいいイラストが印象的な花まつりポスターが頒布開始。従来サイズと短冊サイズをご用意し、デザインにもそれぞれ変化を持たせたやわらかな図柄のポスターとなっております。

- 頒布価格 1枚50円 (短冊サイズは30円)
※別途送料、梱包料が必要です。
- ポスター下部の余白に、地域での開催告知等の書き込み、貼り付けができます。
- 申込用紙の印刷、お申し込みは全日本仏教会ホームページよりお願いいたします。
- 花まつり絵はがきも無料配布中。詳細はホームページをご覧ください。

<従来のデザインも頒布中>

【ポスター3】蓮と仏像



【ポスター4】白象と仏旗



<短冊サイズ>

【ポスター5】白象と仏旗



【在庫限り】

<http://www.jbf.be.jp>

QRコードは
こちら



【お問い合わせ】 広報文化部 担当：西野 良嘉 r-nishino@jbf.ne.jp
TEL 03-3437-9275 FAX 03-3437-3260

全日仏 検索

2016年1月1日発行
1月号 第616号

全日仏

発行人 倉澤 豊明
発行所 公益財団法人 全日本仏教会
〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2階 TEL 03(3437)9275 FAX 03(3437)3260
印刷所 テイクイ ヘンデル アート